



2022年11月7日

各位

会社名 ケイティケイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 青山 英生
(コード番号 3035 東証スタンダード/名証メイン)
問合せ先 専務取締役管理本部長 葛西 裕之
(TEL 052-931-1881)

上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2021年6月30日の移行基準日時点では上場維持基準を満たしており、2022年4月4日よりスタンダード市場に移行いたしました。2022年8月20日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に一部適合しない判定結果となりました。そのため、下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年8月20日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりであり、「流通株式時価総額」については基準に適合しておりません。そのため、当社は、2025年8月までに上場維持基準に適合するために、各種の取り組みを進めてまいります。

なお、計画期限の2025年8月は、2021年10月に発表した2024年8月期を最終年度とする「中期経営計画”Growth Plan”」の達成結果が業績と株価に反映する時期と想定し、定めたものです。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	1,850人	26,251単位	9.4億円	45.8%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画書に 記載の項目			○	
計画期間			2025年8月20日	

※流通株式時価総額の基準となる株価は、事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値である358.28円を用いて算出しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、上場維持基準の適合に向け、2021年10月に発表した「中期経営計画”Growth Plan”」を着実に遂行し、業績の向上と持続的な成長を図ることを基本方針とします。

それとともに、株主還元、IRの充実、流通株式比率の向上等の施策を講じることで流通株式時価総額を高めてまいります。

(2) 課題

流通株式時価総額の構成要素は、「時価総額×流通株式比率」であり、今後当社はその両者の向上・改善を図ってまいります。

このうちの時価総額をさらに分解すると、「当期純利益 × PER（株価収益率）」となります。当期純利益は業績そのものであり、まずはこの向上が必要不可欠と捉えています。

また、PERは、投資家の皆様の「期待値」を反映した尺度ではありますが、基準日時点の当社のPERは約6.12倍*と、きわめて低位な水準にあります。これには、近年売上高が横ばいで成長性に乏しいと見られていること、株式市場における知名度・魅力度が低いことなどが影響していると推察され、この停滞状況からの脱却が必要と考えています。

(※基準日時点の平均株価 358.28 円×2022年8月期の期中平均株式数 5,386,497 株÷2022年8月期当期純利益 315,335 千円)

(3) 取組内容

①中期経営計画の遂行・実現

当社の中期経営計画“Growth Plan”を、最終年度の2024年8月期に向けて着実に遂行します。

中期経営計画に沿って、以下の重点戦略を実行し、事業ポートフォリオを変革していくことで（基盤事業であるサプライ事業を堅守しつつ、成長事業であるITソリューション事業を拡大）、数値目標の達成を目指してまいります。

中期経営計画“Growth Plan”

[計画期間]

2024年8月期（2024年8月20日）

[重点戦略]

I. サプライ事業（基盤事業）の堅守

A. 循環型ビジネスモデルの確立と「サステナブル商品」としての価値訴求

- ・リサイクルトナーのトレーサビリティシステムの構築、リユース率の向上
- ・データを活用したインサイドセールスの展開
- ・リサイクル製品を利用した顧客企業のSDGs支援を強化

B. 「営業DX」の推進

- ・営業支援ツール活用による営業活動の可視化とデータ分析
- ・営業生産性の向上

C. 原材料費等高騰への対応

- ・価格改定の実施
- ・工場生産性の更なる向上

II. ITソリューション（成長事業）の拡大

A. 複合機を起点とした提案型ビジネスの展開とストックビジネスの拡充

- ・グループ全体での複合機販売体制強化と保守サポート体制の拡充
- ・サブスクリプションサービスの拡充

B. 小規模事業者・中小企業へのアプローチ強化

- ・「情報システム部門代行」としてのサービス展開
- ・決裁権者とのリレーション強化

C. WEBマーケティングの活用

- ・WEBコンテンツを活かした集客と収益モデルの確立

D. グループ連携プラットフォームの活用によるシナジーの追求

- ・会議体を通じた人材交流、情報共有機会の拡充

III. 経営基盤の強化

A. 経営人材の育成と成長事業に向けたリスクリング

- ・マネジメント層（役員・部長クラスと課長クラスの二階層）を対象にした通年教育プログラムの継続
- ・IT分野のリスクリングに向けた社内体制の確立
- ・資格（ITパスポート他）取得支援と取得率向上

B. ECサイトの再構築

- ・収益機会拡大と効率化の両面の追求
- ・デジタルマーケティングの観点を見据えたサイト構築、インターネットからも新規顧客を開拓

C. コーポレートガバナンスの更なる高度化

- ・非財務価値の向上と情報開示（人材、ダイバーシティ、脱炭素など）

[数値目標]

(単位：百万円)

	2022年8月期（実績）	2023年8月期（予想）	2024年8月期（計画）
売上高	17,198	17,600	19,000
営業利益	404	430	520
経常利益	502	520	600
ROE	9.0%	—	10.0%以上

※中期経営計画の詳細は下記弊社HPにてご参照願います。

<https://www.ktk.gr.jp/ir/library#06>

また、M&A への取り組みを継続し、グループの業容拡大を企図するだけでなく、新たな販売手法・チャネルの開拓やデジタル分野のノウハウ獲得に努めます。具体的には、事業承継問題を抱える親密な取引先との資本提携や、スタートアップ企業等との新たな提携・協業機会を模索してまいります。

これらの取り組みにより、投資家の皆様に、安定的な業績と成長性をともにアピールしてまいります。

なお、PER については、2022 年 8 月期の期中平均株式数、2022 年 8 月期の当期純利益をもって、上場維持基準である流通株式時価総額 10 億円（株価 381 円）を実現する水準は 6.51 倍と試算され、当面はこれを最低ラインの目標としてまいります。

②株主還元

当社は株主還元の方針として連結配当性向 30%を掲げており、2021 年 8 月期実績 22.6%、2022 年 8 月期実績 23.9%と、配当性向は向上しています。進行情の 2023 年 8 月期は、年間で 1 株あたり 15 円の配当（1 円の増配）、連結配当性向 24.9%と予想しています。

また、2023 年 8 月期からは中間配当を実施する予定であり、株主の皆様への利益還元機会の一層の充実を図り、投資家の皆様にとって魅力のある企業となれるよう努めてまいります。

③IR の充実

当社株式の約 96.9%は個人投資家の皆様に保有頂いており（株数ベース、2022 年 8 月 20 日時点）、当社は個人投資家向けの活動に注力する必要があると認識しています。これを受け、当社は 2022 年 4 月に名古屋証券取引所（メイン市場）に重複上場し、個人投資家向けの IR 活動をさらに強化する方針を掲げております。

今後は、個人投資家向けの活動を積極的に展開し、これに加え、株主向け、機関投資家・アナリスト向けの活動も随時行ってまいります。直近では、以下のような IR 活動を実施済み／実施予定であり、2023 年以降も同様の活動を予定しています。

7 月	名証 IR セミナーオンライン（個人投資家向け、名古屋証券取引所）
9 月	名証 IR エキスポ（個人投資家向け、名古屋証券取引所）
10 月	決算説明会、1on1 ミーティング（機関投資家・アナリスト向け、東海東京証券）
11 月	株主懇談会（株主向け、自社） 株式投資ウインターセミナー（個人投資家向け、名古屋証券取引所）

また、四半期ごとの決算説明資料の開示、説明会動画・書き起こし資料の開示等も継続し、Twitter 等の SNS を利用した情報発信にも努めます。

さらには、2023 年 8 月期中に、当社のサステナビリティ重要課題（人材、ダイバーシティ、環境貢献等）への取り組み状況を自社ホームページ（ファクトブック等）に掲載することで、非財務情報の開示も進めていく所存です。

④流通株式比率の向上

既存株主である事業法人等と当社株式の売却につき協議し、政策保有株式の縮減に合わせた持ち合い解消も段階的に進めてまいります。

グループ全体の従業員を対象とした「従業員持株会」を活性化し、持株比率の向上を図ります。(現状約 30,000 株・0.5%→目標 80,000 株・1.4%)

上記の取り組み等により、流通株式比率の向上を目指します。具体的には、基準日時点で 45.8%の比率であったものを、2025 年 8 月の計画期限までに、48%以上の水準にまで高めてまいります。

以上